

**【教員氏名】**

矢根 眞二

**【単位数】**

2 単位

**【演習概要】**

世界や日本の水問題を考えますから、「考える」ということが好きな学生の積極的な参加を期待します。水問題に関する基本的な「事実」が試験の主対象ですが、水は生存に不可欠な人権問題なのか金を儲ける商品なのかといった問題を受講者自身で「判断」しなければ、考える力など向上しないからです。

**【学習目標】**

世界の水・日本の水の実事に関する基礎知識の習得が基本目標です。ただし、講義に出席するだけで自ら考えたり問題練習したりできない方は、試験の得点が成績評価のベースですから、単位を取得できませんから注意が必要です。逆に本を読んだり議論したりするのが好きな方には、たんに授業を鵜呑みにするのではなく、同じ事実に対する様々な見方を「疑い深く自分の頭で考え判断する」練習機会になれば嬉しい限りです。

**【講義計画】**

- 第1回：誤った選択に自信を持つ？（学習方法と成績評価法）
- 第2回：狙われたブルーゴールド
- 第3回：解決すべき世界の難題は？
- 第4回：一水四見は特別？
- 第5回：ミネラルウォーターの是非？
- 第6回：Review <My Opinion>： 価値判断と事実判断
- 第7回：世界の水不足・水危機の原因は？
- 第8回：地球の水は本当に枯渇する？
- 第9回：バーチャル・ウォーター大量輸入国の是非？
- 第10回：水をめぐる世界の紛争・戦争の構図？
- 第11回：水争いのジレンマから脱却する方法？
- 第12回：巨大化する水市場のビジネスモデル
- 第13回：上下水道と「チーム水・日本」
- 第14回：主要な論点および授業内試験(100点)予定日
- 第15回：一水私見

**【成績評価の方法】**

試験評価：100%

初回に説明するように、さらに授業中の質問・クイズ等を加算する場合もありますが、試験中心ですから自らスライドの問題を自主練習する自己管理能力がない方は注意が必要です。

**【テキスト】**

吉村和就『水ビジネス』角川（one テーマ21）、アマゾン Kindle 版 490 円

**【参考文献】**

経済学部教員サイト (<http://rio.andrew.ac.jp/~yane/>) の授業スライドを参照して下さい

**【準備学習の指示】**

上記の授業スライドの問題の自主練習が基本です